

社会資本総合整備計画

水とみどりからやすらぎとうるおいを実感できる賑わい空間の創出

事後評価

京都府

平成 29 年 3 月

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成29年 3月31日

計画の名称	1 水とみどりからやすらぎとうるおいを実感できる賑わい空間の創出																																						
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）				交付対象	京都府																																	
計画の目標	京都府において「安らぎ」と「うるおい」を求めるための公園の整備は十分な状況ではなく、近年の健康志向と余暇活動に対するニーズが高まる中、府民が安らぎを感じ、健康的な生活が送れるよう、公園や水辺の整備を進める。 また、都市公園の多数が供用開始から数十年を経過し、施設の老朽化が進んでいることや、高齢者や障害者などが快適に利用できることが求められていることから、施設の計画的な更新やバリアフリー化等を図ることにより、安全・安心に利用できる公園の整備を進める。																																						
計画の成果目標（定量的指標）	①一人当たり都市公園面積を10.8m ² （H22）から11.8m ² （H26）に増加 ②バリアフリー化の整備率 ・便所のバリアフリー化の整備率を73%（H22）から100%（H26）に向上 ・園路のバリアフリー化の整備率を18%（H22）から50%（H26）に向上 ③水辺空間のある公園などの整備率を85%（H22）から100%（H26）に向上 ④再整備により美装化した園路・広場の面積を0ha（H22）から2.9ha（H26）に増加																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①一人当たり都市公園面積</td> <td colspan="3">府営都市公園面積（京都市内除く）／京都市人口（京都市除く）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②バリアフリー化の整備率</td> <td colspan="3"> （便所のバリアフリー化済みの公園数÷供用済みの公園数）×100 （園路のバリアフリー化済みの公園数÷供用済みの公園数）×100 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>③水辺のある公園などの供用率</td> <td colspan="3"> {供用中の水辺のある公園などの数÷（府営都市公園数+河川水辺整備数（美山川））}×100 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>④再整備により美装化した園路・広場の面積</td> <td>0.0 ha</td> <td>2.2 ha</td> <td>2.9 ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	①一人当たり都市公園面積	府営都市公園面積（京都市内除く）／京都市人口（京都市除く）				②バリアフリー化の整備率	（便所のバリアフリー化済みの公園数÷供用済みの公園数）×100 （園路のバリアフリー化済みの公園数÷供用済みの公園数）×100				③水辺のある公園などの供用率	{供用中の水辺のある公園などの数÷（府営都市公園数+河川水辺整備数（美山川））}×100				④再整備により美装化した園路・広場の面積	0.0 ha	2.2 ha	2.9 ha	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																				
①一人当たり都市公園面積	府営都市公園面積（京都市内除く）／京都市人口（京都市除く）																																						
②バリアフリー化の整備率	（便所のバリアフリー化済みの公園数÷供用済みの公園数）×100 （園路のバリアフリー化済みの公園数÷供用済みの公園数）×100																																						
③水辺のある公園などの供用率	{供用中の水辺のある公園などの数÷（府営都市公園数+河川水辺整備数（美山川））}×100																																						
④再整備により美装化した園路・広場の面積	0.0 ha	2.2 ha	2.9 ha																																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	745 百万円	A	525 百万円	B	0 百万円	C	220 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		29.5%																												

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
京都府建設交通部内において実施	平成28年度末 公表の方法 京都府ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 公園事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A1-2	公園	一般	京都府	直接	京都府	都市公園事業（鴨川公園）	園路・広場工、植栽工、バリアフリー整備	京都市						380		
1-A1-7	公園	一般	京都府	直接	京都府	都市公園事業（嵐山公園）	園路・広場工、植栽工、バリアフリー整備	京都市						145		
									合計					525		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
									合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

*計画の事業箇所は今後5箇年で想定される箇所を記載したものであり、毎年度の事業実施箇所については、当該年度の予算成立後に決定します。

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	河川	一般	京都府	直接	京都府	鴨川高水敷整備事業	高水敷整備	京都市						220	
									合計					220	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	1-A1-2と一体的に実施することにより整備促進を図るものである。														

※計画の事業箇所は今後5箇年で想定される箇所を記載したものであり、毎年度の事業実施箇所については、当該年度の予算成立後に決定します。

その他関連する事業														
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1'-1	公園	京都府			都市公園事業（木津川右岸運動公園）		城陽市						1,204	防災・安全移行先
1-A1'-3	公園	京都府			都市公園事業（山城総合運動公園）		宇治市						689	防災・安全移行先
1-A1'-4	公園	京都府			都市公園事業（丹波自然運動公園）		京丹波町						375	防災・安全移行先
1-A1'-5	公園	京都府			公園施設長寿命化計画策定調査		京都市他						58	防災・安全移行先
1-A1'-6	公園	京都府			都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業		宇治市他						1,626	防災・安全移行先
1-C'-2	活動支援	京都府			木津川右岸運動公園活動支援事業		城陽市						35	防災・安全移行先
1-C'-3	公園	京都府			木津川右岸運動公園利便性向上事業		城陽市						70	防災・安全移行先
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
A'1	河川	一般	直接	京都府	統合河川環境整備事業（美山川）	遡上改善、瀬・瀬、川原の再生、生物生息空間の創出	南丹市						180	地域自主

A'	4,132 百万円	B'	0 百万円	C'	105 百万円	効果促進事業費の割合 (C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	6.5%
----	-----------	----	-------	----	---------	---	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 公園面積の拡大により、多くの住民が散策や休憩などに利用でき、利便性が向上した。 園路やトイレのバリアフリー化を図ることで社会的弱者にも使いやすい公園となり、快適性が向上した。 園路や広場等の再整備により、より安全で使いやすい公園施設となり、安全性が向上した。 								
II 定量的指標の達成状況		①一人当たり都市公園面積	最終目標値	11.8 m ²	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り実施できている。				
			最終実績値	11.9 m ²						
		②便所のバリアフリー化の整備率	最終目標値	100% (12箇所)	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り実施できている。				
			最終実績値	100% (12箇所)						
		②園路のバリアフリー化の整備率	最終目標値	50% (6箇所)	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り実施できている。				
			最終実績値	50% (6箇所)						
		③水辺のある公園などの供用率	最終目標値	100% (13箇所)	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り実施できている。				
			最終実績値	100% (13箇所)						
		④再整備により美装化した園路・広場の面積	最終目標値	2.9 ha	目標値と実績値に差が出た要因	その他関連する事業により広場の再整備を行い、事業進捗が図られたため。				
			最終実績値	3.4 ha						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 河川の増水により高水敷を損傷させないように、地中に河川護岸を埋設したところ。近年の災害においてはその効用を発揮している。 								
3. 特記事項（今後の方針等）										
社会資本総合整備計画の第2期計画において、一人当たり都市公園面積や園路のバリアフリー化の整備率等の更なる充実を図る。										

(参考図面) 市街地整備

